



被災地に出来立てのバラ焼きと元気を！

十和田バラ焼きゼミナールが炊き出し

4月10日、十和田バラ焼きゼミナールが東日本大震災の被災地である岩手県野田村で、バラ焼きの炊き出しを行いました。野田村での炊き出しは2回目となります。

今回は住民のかたはもちろん、災害支援活動を支える職員やボランティアのかたにも食べて欲しいと、役場前で600食を提供しました。炊き出しを受けたかたは、出来立てのバラ焼きをおいしそうに食べていました。



被災地のかたに元気を！バラ焼きを炒める手に力が入ります

アート力を復興の力に

現代美術館でアーティストらが募金活動

4月3日、現代美術館で復興支援プロジェクト「Hearts Towada (ハーツ・トワダ)」のメンバーが募金の呼び掛けを行いました。Hearts Towadaは、現代美術館で繋がりを持ったアーティストや市民有志により立ち上げられたものです。代表の照井佐和子さんは「アーティストさんや作品から頂いたパワーを少しでも多くの被災されたかたにお届けできればと思います」と話していました。

詳しい活動内容はHearts Towada ホームページ <http://heartstowada.wordpress.com/> をご覧ください。



復興に向けてたくさんのハートを届けます



十和田産品で復興を支援！

復興支援チャリティー物産展

4月9日、イオンスーパーセンター十和田店特設会場で「十和田産品で復興支援！チャリティー物産展」が開催されました。

この物産展は、被災地の復興を支援するため開催されたもので、売り上げの30%を義援金として日本赤十字社などに寄附しました。

物産展には、市と(社)十和田市観光協会の呼び掛けで農園カフェ 日々木など15店舗が出店。十和田バラ焼き、黒にんにく、米粉パンなどの十和田産品を販売しました。また、会場内では十和田乗馬倶楽部によるチャリティー乗馬体験や桜田まことさんらによるチャリティーコンサートが行われ、盛り上がりを見せていました。

来場者は、「被災地のために何か買って貢献したい」と十和田産品を買い求めていました。



試食用意され、来場者は十和田産品を実際に味わい買い求めていました

十和田市おばあちゃんより

「仲良く笑顔で」瓶一杯の寄附



4月1日、瓶一杯に入った募金が現代美術館に届きました。添えられた手紙には「震災は忘れた頃かならず来る。皆幸福になりますように」「十和田市おばあちゃんより」などと書かれていました。現代美術館特任館長の小林央子さんは「女神が現れた」と感謝していました。